

27日 月曜

詩篇

23 ダビデの賛歌

23:1 【主】は私の羊飼い。私は乏しいことがありません。

23:2 主は私を緑の牧場に伏させいこいのみぎわに伴われます。

23:3 主は私のたましいを生き返らせ御名のゆえに私を義の道に導かれます。

23:4 たとえ死の陰の谷を歩むとしても私はわざわいを恐れません。あなたがともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖それが私の慰めです。

23:5 私の敵をよそにあなたは私の前に食卓を整え頭に香油を注いでくださいます。私の杯はあふれています。

23:6 まことに私のいのちの日の限りいつくしみと恵みが私を追って来るでしょう。私はいつも【主】の家に住まいります。

ダビデは多くの試練があり、失敗もありました。苦難の連続で、何度も命の危険にさらされました。そのような中ではありますが、「私は乏しいことがありません。」と、主に全く信頼しています。いや、苦難の連続だからこそ、「主は私の羊飼い。」と、主のもとにいることの安心を体験したのでしょうか。

このように、私たちの信仰は平穀無事なときにしっかりとするのではなく、試練の中でこそ成長します。それは、平穀なときに主に感謝するところから始まるものです。常に主の守りの中にいることを自覚していますと、そこから感謝が生まれ、また信頼が生まれ、さらには試練が来てもあわてずに、信仰が強められるのです。

このダビデの信仰の告白のように、私たちも主への信頼をことばにしましょう。それを自分自身と、また他の人にも表しましょう。



①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

